

概要

■ 初めてでも操作に迷うことがありません

Modbus設定ツール「WRS-MST」は、全体を通して日本語表示です。また、各所に簡単な説明文を取り入れておりますので、「誰でも」「簡単に」操作できます。

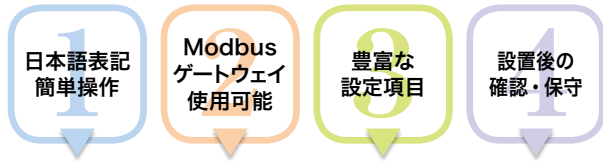
■ 設置環境に合わせた接続方法が選べます

専用ケーブルを用いた接続の他に、お手持ちのModbus対応RS485/USB変換器やRS485/LAN変換器経由でモジュールと接続することができます。

■ 無償で提供いたします

Modbus設定ツール「WRS-MST」は、弊社ホームページよりダウンロードしてお使いいただけます。しかも、インストールなしで圧縮ファイルを解凍するのみで手軽に扱うことができます。

<http://www.watanabe-electric.co.jp/>



各種設定やデータモニタリングが簡単！導入時の工数削減に貢献！

動作環境

対応OS	Windows 7 Professional SP1 (32bit/64bit) Windows 8 Pro (32bit/64bit)、 Windows 8.1 Pro (32bit/64bit)
CPU	インテル® Core™ i3-2310M プロセッサ(2.10GHz)以上
メモリ	4GB以上推奨
ハードディスク容量	上記OSが快適に動作する環境 (本ソフトウェアは15MB以上の空き容量が必要です)
ディスプレイ	XGA1024×768以上
タッチパネル	非対応
マウス	必須
キーボード	必須

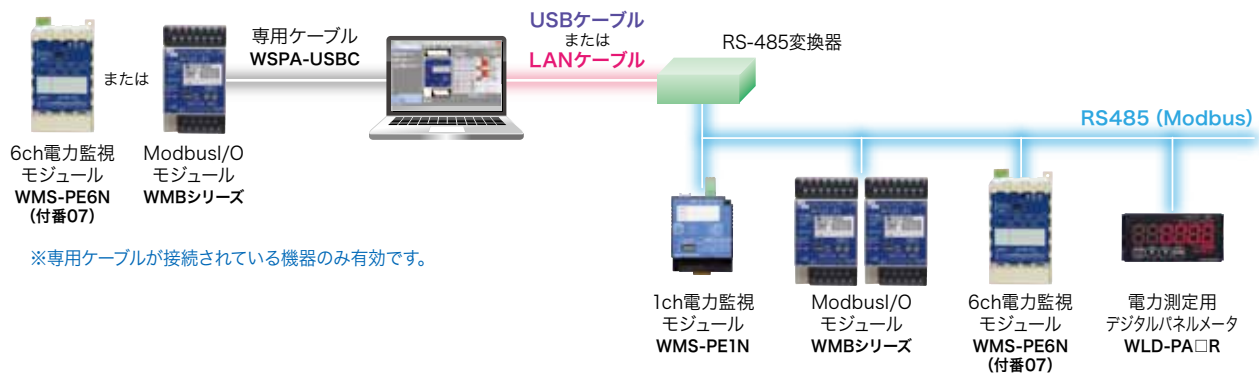
型式

WRS-MST

仕様・機能

モニタリング	500ms間隔で計測データをモニタリング
通信テスト	Modbusネットワーク内の通信環境を確認(ID1~99)
名称設定	モジュールの管理のために任意の名称を設定
定格設定	電力計測のための相線区分、定格値を設定 ※WMSシリーズのみ
アナログ設定	スパン調整、ゼロ調整、ローカットの設定 ※WMB-A18/MA16/AO4のみ
パルス係数表示	パルス積算値を係数変換して表示 ※WMB-DI16/DIO8Rのみ
積算値プリセット	電力量、パルス積算値、パルス積算最大値の設定
誤配線検出	電力の計測データから異常を判定し、配線ミスを検出 ※WLD、WMSシリーズのみ
エラーログ表示	最大50件のモジュール内部エラーログを表示 (WLD、WMSシリーズは10件)
ファイル出力	モジュールの設定状態をExcelファイル(.xlsx) またはXMLファイルに保存
ファイル入力	XMLファイルを読み込み、設定時の状態を確認
模擬入出力	デジタル系のON/OFF、アナログ系の5段階入出力を 模擬的に制御

システム構成・対応モジュール



画面



● トップ画面

圧縮ファイルを解凍するのみ。インストール作業なしで使用できます。



● モジュール設定画面

すべて日本語表示。簡単な説明付きで迷わず簡単に操作できます。



● 通信テスト画面

通信テスト機能、簡易誤配線検出機能、模擬入出力機能などを搭載し、設置後の確認や保守もアシストします。